

# 関連語：「こしらえる」、「こさえる」

- ・目的語は具体物であることが多い。年よりめいた言葉。
- ・【原義】よいようにとりつくろう
- ・コアの意味：意図的に工夫してつくる
- ・無生物主語は不可能。
- ・「栽培」の意味では用いない  
例：「そばをこしらえる」  
→「そばを栽培する」という意味では用いられない  
「食事としてのそばを丁寧につくる」と意味を持つ。

「女をこしらえる」「逃げ言葉をこしらえる」  
→ \* 米をこしらえる、\* 詩をこしらえる

「急いでこしらえた食事」

〔古〕「その場をこしらえる」→その場を取り繕う

「話をこしらえる」「あることないことをこしらえる」「笑顔をこしらえる」

「ひまをこしらえて出かけよう」



# 「こしらえる」の派生語

---

「はらをこしらえる」

「腹ごしらえ」

「急ごしらえの」

「地ごしらえ」

「素地ごしらえ」

「下ごしらえ」

「急場ごしらえ」

「下地をこしらえる」…

# 「きづく」

---

- ・【漢字】築く
- ・【コア】:土や石を積上げ、固めることにより構造物（城、とりで、堤防）をつくる
- ・【比喩的意味】:[建造物とみなせるものを作る]  
（大掛かりな）内部構造を持つしっかりしたものを段階的につくる（Grady Theories are Buildings参照）

例)「伝統を築く」、「財産を築く」、「関係を築く」  
→「つくる」の改まり語として用いられる。

# 「でっちあげる」

- ・目的語は著作物、思考の産物
- ・【コア】:もともとないものをあるかのように作り上げる  
例:「事件をでっちあげる」  
「この証拠は警察のでっちあげたものだ」  
「手柄話をでっちあげる」
- ・【拡張】:時間をかけないで、形だけ無理やりつくる  
(レポート、宿題、論文・・・)

「話をこしらえる」と「話をでっちあげる」はかなり意味が近いが、前者は手間をかけて作り上げる意味であり、派生的意味が本当の話ではないということであり、後者はでたらめな話を作ったというのが本来の意味であり、手間をかけたかどうかは明らかではない。